

自生エリア拡大阻止作戦

春から夏にかけてきれいな花が咲くけしの中には、麻薬成分が含まれ自生を含めて植えることが禁止されている種類があります。植えてはいけないアツミゲシ(セティゲルム種)は淡路島全域に自生し、自生地を広げないためには、花が散る前に抜去、焼却処分することが必要です。

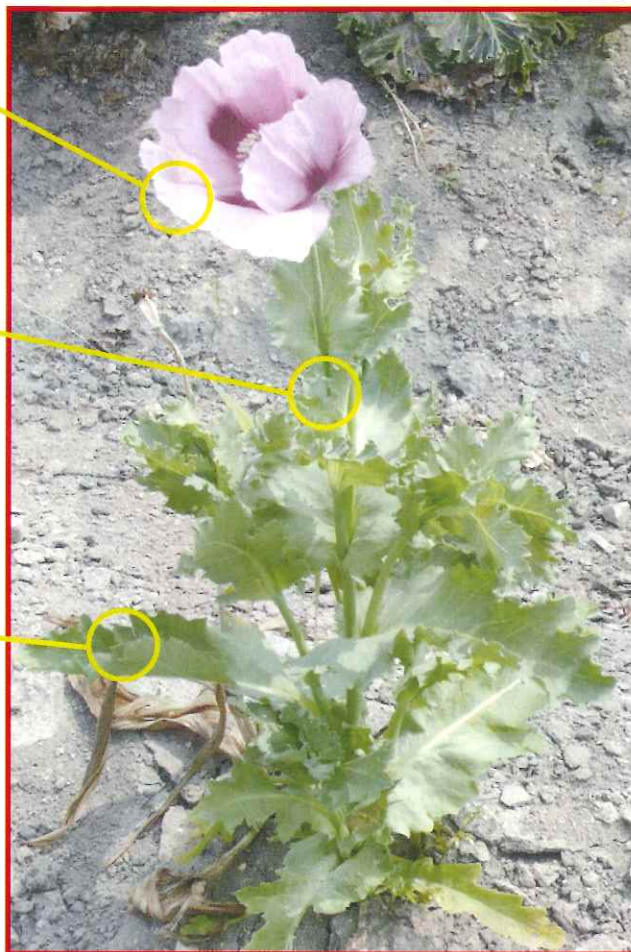
地域の皆様のご協力をお願いします。

アツミゲシ(セティゲルム種)の特徴

花びらは4枚
薄紫色や赤色がある

草丈は 50cm から 100cm
葉は茎を包み込むように
互い違いに付く

葉は白っぽい緑色(キャベツ様)
切れ込みが浅い



つぼみ



果実(けし坊主)

多数の種子が入っています

抜去・処分の方法

花が散る前(種子が飛散する前)に、根から引き抜いてください。
引き抜いたけしは、燃えるごみとして市等のごみ回収に出してください。
種子が飛散してしまった場所の土を、他の場所に移動させないでください。



兵庫県マスコット
はばタン

【ご相談・お問合せ先】

兵庫県洲本健康福祉事務所(保健所)

食品薬務衛生課

電話 0799-26-2067・2068

その他の植えてはいけなし

ケシ(ソムニフェルム種)



茎を包み込むように葉が付く

ハカマオニゲシ(ブラクテアツム種)



花びらに黒い斑点

つぼみ表面の毛は寝ている

植えてもよいけし

ヒナゲシ(虞美人草)



アイスランドポピー



オニゲシ



植えてはいけなし

けしを見分けるポイント

(ほとんど) 無毛
葉を抱いている
浅い

茎葉の毛
葉の基部
葉の切れ込み

全体に毛が生えている
葉を抱いていない
深い

植えてもよい

詳しくは、厚生労働省ホームページをご参照ください。

http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/taima_miwakekata.html

大麻・けしの見分け方

検索

写真は、厚生労働省発行 大麻・けしの見分け方 から引用しました。